

12月5日、古代衣裳を着用し、本会議を開催



日本書紀に、「持統八年十二月の庚戌かみづのりの朔乙卯(694年12月6日)に藤原宮ふじのらのみやに遷都された。」との記述があります。

藤原宮に遷都された月と同じ12月に、議場内にいる全員(傍聴者は除く)が古代衣裳を着用し、本会議を開催しました。

※本市議会のHPにおいて、当日の録画中継を見ることが出来ますので、ぜひアクセスしてください。



表紙紹介

春過ぎて 夏来るらし
白栲の 衣乾したり 天の
香具山

持統天皇

香具山に、真っ白な衣が干されている。山の緑も白い衣もともにきらきらと太陽の光りをはじき返している。ああ、春は過ぎ、もう夏が来た。

万葉歌碑の場所
醍醐池の南東(醍醐町)



議会だよりの表紙に万葉歌碑と歌碑周辺の風景をシリーズ掲載

檀原市内には、日本最古の歌集である万葉集の歌碑が多数点在しております。この万葉歌碑と歌碑付近からの眺めを議会だよりの表紙としてシリーズ掲載することとなりました。